|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1-1「学者の落しもの」No.1「落とした時計」初期路地裏で時計を落とした。靴磨きがよく路地裏にいるようだ。 | 1-1「学者の落しもの」アイテム（1）No.2「学者のものらしき時計」靴磨き学者のものらしき時計。 | 1-1「学者の落しもの」（2）No.3「見つかった時計」真相 学者これは学者の時計だ。 |
| 1-2「家宝の剣」No.1「家宝の剣」初期依頼者が以前手放した家宝の剣。以前新聞で見たという話がある。 | 1-2「家宝の剣」（1）No.2「商人に借りた」記者新聞に載った剣は、商人から借りたもの。 | 1-2「家宝の剣」（1）または（2）No.3「剣は商人が」真相　商人剣は現在商人が所有している。 |
| 1-3「料理のレシピ」No.1「自作レシピ」初期はやりの料理の不完全なレシピ。 | 1-3「料理のレシピ」No.2「プロのレシピと材料」マスター料理の正しいレシピ。 | 1-3「料理のレシピ」No.3「足りなかった材料」商人レシピを完全にするための香辛料。 |
| 1-3「料理のレシピ」No.4「流行の料理」真相　貴族レシピは完成した。 | 2-8「エーシーズ・ハイ」No.1「キズモノ飛行機」初期助けてくれた飛行機には、7つの傷があった。 | 2-8「エーシーズ・ハイ」No.2「貴族説」記者その飛行機は、貴族の飛行機に似ている。 |
| 2-8「エーシーズ・ハイ」No.3「あの日は病気」貴族その日は風を引いて、一日中寝込んでいた。 | 2-8「エーシーズ・ハイ」No.4「目撃証言」靴磨きその日、元気そうな貴族を外で見た。 | 2-8「エーシーズ・ハイ」No.5「正体は貴族」真相　貴族依頼人を助けた飛行機乗りは貴族だった。 |
| 2-12「消えたネクタイ」No.1「ネクタイは商人のもとへ」初期　記者商人に貸したネクタイが中々返ってこない。 | 2-12「消えたネクタイ」（1）No.2「マスターの証言」マスター記者のネクタイと同じ物を、最近学者が付けている。 | 2-12「消えたネクタイ」アイテム（2）No.3「ネクタイと領収書」学者ネクタイは商人のところで買ったもの。ネクタイと領収書を渡される。 |
| 2-12「消えたネクタイ」（3）No.4「郵便の行方」記者このネクタイは間違いなく、商人に郵便で送ったはずの記者のネクタイ。 | 2-12「消えたネクタイ」（3と4）No.5「手違い」真相　商人商人の部下が間違えて売ってしまっていたらしい。 | 2-1「狼男」No.1「狼男のうわさ」初期満月の夜に狼男が出るといううわさがある。新聞にまで載ったらしい。 |
| 2-1「狼男」（1）No.2「目撃情報」靴磨きこの前の満月の夜、銀色の子犬を頭に乗せていた怪しい男を見た。 | 2-1「狼男」（1）No.3「銀色の子犬」商人この前記者が銀色の子犬を買っていった。 | 2-1「狼男」（2と3）No.4「でっち上げ」真相　記者記者の自作自演であった。 |
| 2-14「くさきものども」No.1「謎の集団」初期商店街の裏路地に怪しい集団がいて、変なにおいをふりまいている……。 | 2-14「くさきものども」（1）No.2「腐った豆」記者路地裏の集団は、腐った豆を食べているようだった……。 | 2-14「くさきものども」（1）No.3「黒覆面の男」靴磨き黒い覆面をした男が奇妙な物を配り、質問をしていた。酷い臭いだった。 |
| 2-14「くさきものども」（2）No.4「料理依頼」貴族腐った豆は納豆と呼ばれる料理らしい。誰かにその料理を頼んだのだが……。 | 2-14「くさきものども」（3）No.5「酒場から出現」商人何度か酒場から黒い覆面の男が出てくるのを目撃した。 | 2-14「くさきものども」（4と5）No.6「覆面のわけ」真相　マスターまだ製作中なので秘密にしたかった。あと匂いが酷くて覆面をしていた |
| 2-2「恋文」No.1「恋文」初期　貴族身に覚えがない恋文。差出人の名前はフィアーナ。 | 2-2「恋文」（1）No.2「恋文の出てくる小説」記者同じ内容の恋文が出てくる小説を、マスターに借りて読んだことがある。 |
| 2-2「恋文」（2）No.3「マスターの冗談」商人あれはマスターが書いたもの。詳しくは本人に。 | 2-2「恋文」（3）No.4「酒の席の冗談」真相　マスターあれは酒の席の冗談で書いたもの。 | 2-10「10年目の浮気？」No.1「トマスの浮気疑惑」初期結婚十周年を目前にして、夫のトマスが度々謎の外出をしている。 |
| 2-10「10年目の浮気？」（1）No.2「最近会ってない」マスタートマスとはしばらく会ってない。この前会ったときは、結婚記念日の妻へのプレゼントについて相談された。 | 2-10「10年目の浮気？」（1）No.3「引退した指輪職人」商人トマスに引退した指輪職人の居場所を聞かれた。職人は夫妻の結婚指輪の製作者で、商人とも付き合いがあった。 | 2-10「10年目の浮気？」（3）No.4「職人の今」記者職人の住所を知っているが、知り合いでないとまともに話は聞けないだろう。 |
| 2-10「10年目の浮気？」（4）No.5「結婚十周年の記念品」真相　商人トマスの外出は、引退した指輪職人を探しまわっていたためだった。 | 2-16「少年の一目惚れ」No.1「髪飾り」初期学者の息子が十日前に一目惚れした少女は、青いバラをあしらった髪飾りを付いていた。 | 2-16「少年の一目惚れ」アイテム（1）No.2「高価な落しもの」靴磨き三日前に拾ったよく似た首飾り。高価そうなものだからお金持ちのものだろう。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2-16「少年の一目惚れ」（1）No.3「きっかけは服装展示会」マスターその髪飾りは、とある服装展示会のあとから流行りだした。 | 2-16「少年の一目惚れ」（1）No.4「販売は五日前から」商人その髪飾りは商人の店で五日前から独占的に扱っている。 | 2-16「少年の一目惚れ」（2）No.5「持ち主は貴族の娘」貴族落ちていた髪飾りは貴族の娘のもの。 |
| 2-16「少年の一目惚れ」（3）No.6「精巧な人形」記者五日前に服装展示会の取材に行った時、人間と見間違うほど精巧な人形がたくさんあって驚いた。 | 2-16「少年の一目惚れ」（4と6）No.7「淡い初恋」真相　学者息子が一目惚れしたのは、展示されていた人形なのだろう。 | 2-3「チェンジリング」No.1「読めない本」初期入れ替わったカバンの中に入っていた、読めない言葉で書かれた本。 |
| 2-3「チェンジリング」（1）No.2「一部訳の台本」学者一部を訳したところ、演劇の台本らしい。記者が劇についての記事を書いていた。 | 2-3「チェンジリング」（2）No.3「スポンサー」記者本はこの前取材したオペラの台本。貴族の父がスポンサーをしている。 | 2-3「チェンジリング」（3）No.4「あるべきところへ」真相　貴族貴族の父を通じて、カバンは返却された。 |
| 2-9「伝説の薬剤師」No.1「伝説の薬剤師」初期この街に伝説の薬剤師と呼ばれた人物がいるらしい。 | 2-9「伝説の薬剤師」（1）No.2「星の形をしたアザ」記者伝説の薬剤師には、星形のアザがあるらしい。 | 2-9「伝説の薬剤師」（1）No.3「靴磨きの薬」マスターマスターの客が困っていた時、靴磨きから薬をもらって楽になった。 |
| 2-9「伝説の薬剤師」（2）No.4「星のアザの持ち主」学者以前靴磨きに、星形のアザを消したいと相談された。 | 2-9「伝説の薬剤師」（3と4）No.5「伝説の薬剤師」真相　靴磨き靴磨きが伝説の薬剤師である。 | 2-4「通り魔」No.1「いきなりの襲撃」初期　貴族数日前に路地裏近くで貴族が何者かに殴られた。 |
| 2-4「通り魔」（1）No.2「ガールフレンド」靴磨き貴族に最近ガールフレンドができた。彼女は商人の娘だ。 | 2-4「通り魔」（2）No.3「ストーカー」商人商人が貴族を殴ったが、それは娘が貴族にストーカーされていたため。 | 2-4「通り魔」（3）No.4「依頼の取り下げ」真相　貴族依頼は達成したとこにするから、ストーカーのことは黙っていて欲しい。 |
| 2-11「届かなかった贈り物」No.1「紅白の箱」初期　貴族友人からのプレゼントの入った、紅白の箱。中身は不明。。 | 2-11「届かなかった贈り物」（1）No.2「女神像」靴磨き箱の中身は女神像だったらしい。商人に売ってしまったようだ。 | 2-11「届かなかった贈り物」（2）No.3「ヴィーナス像」商人ヴィーナス像は学者が商人から買っていったらしい。 |
| 2-11「届かなかった贈り物」（3）No.4「裸体像」学者裸の像は、学者が新聞記者にあげてしまったらしい。 | 2-11「届かなかった贈り物」（4）No.5「ツケのカタ」記者裸体像は、記者の借金のカタにマスターに持っていかれたらしい。 | 2-11「届かなかった贈り物」（5）No.6「ギャンブルにベット」マスター賭けの商品として、マスターは貴族にとられてしまったらしい。 |
| 2-11「届かなかった贈り物」（6）No.7「数奇な運命」真相　貴族結局のところ、荷物は貴族のところに届いていたのだ。 | 2-7「毒殺」No.1「アンダーソン氏の死」初期アンダーソン氏が毒殺された。容疑者はボストン氏。 | 2-7「毒殺」（1）No.2「ボストン氏の買い物」商人事件の前に万年筆型の注射器をボストン氏が買ったらしい。 |
| 2-7「毒殺」（2）アイテムNo.3「落ちていた万年筆」靴磨きボストン氏が商人から買った万年筆型の注射器。靴磨きが拾った。 | 2-7「毒殺」（3）No.4「決定的証拠」真相　学者ボストン氏が買った注射器には、犯行に使われた毒が入っていた。これは決定的な証拠といえるだろう。 |
| 2-17「盗まれた首飾りを取り戻して」No.1「盗まれた首飾り」　初期家宝の首飾りが盗まれてしまった。 | 2-17「盗まれた首飾りを取り戻して」アイテム（1）No.2「首飾りの鑑定書」貴族盗難品の首飾りと瓜二つの貴族の首飾りだ。その鑑定書。 | 2-17「盗まれた首飾りを取り戻して」（1）No.3「問屋がらみの犯罪」記者最近盗んだ宝石を問屋を使ってロンダリングする事件が起きている。 |
| 2-17「盗まれた首飾りを取り戻して」（2）No.4「もしかして偽造？」学者巧妙に偽装されてはいるが、この鑑定書は偽物の可能性が高い。 | 2-17「盗まれた首飾りを取り戻して」（3と4）No.5「鑑定書は偽造」商人この鑑定書は偽造と判断できる。売ってしまった手前回収できず、黙っていた。 | 2-17「盗まれた首飾りを取り戻して」（2と5）No.6「戻ってきた首飾り」真相　貴族これが盗品であるならば名誉にかかわる大問題だ。一刻も早く元の持ち主に返してくれ。 |
| 2-5「無人教室」No.1「子供が来ない」初期　学者最近学者先生の子供教室で、子供たちの欠席が相次いでいるらしい。 | 2-5「無人教室」（1）No.2「竜の玉」 靴磨きなんのことだかは知らないが、「竜の玉」というものが、子供の間で流行っている。 | 2-5「無人教室」(2)No.3「貴族の所有物」新聞記者「竜の玉」は東方のMANGAで貴族様が収集しているらしい。 |
| 2-5「無人教室」（3）No.4「貴族の家で」真相　貴族子供たちは貴族の家で、MANGAを読んでいた。 | 2-15「紫の薔薇」No.1「紫の薔薇の君について」初期依頼主である女優のデビュー直後から、匿名で紫の薔薇を送り続けている人がいる。 | 2-15「紫の薔薇」（1）No.2「女優の出身」記者女優は、孤児院出身だという噂がある。 |
| 2-15「紫の薔薇」（1）No.3「貴族の庭園」マスター貴族の庭園には珍しい花がたくさんある。紫の薔薇もあるかもしれない | 2-15「紫の薔薇」（1）No.4「庭仕事の道具」商人紫の薔薇は市販されておらず自分で育てるしかない。靴磨きはいつも庭仕事の道具を買っていくので、何か知っているかもしれない。 | 2-15「紫の薔薇」（3）No.5「靴磨きの過去」貴族庭園は管理人が亡くなった時に潰してしまった。管理人は生前孤児院の管理もやっており、靴磨きはそこの出身である。 |
| 2-15「紫の薔薇」（1から5まで全部）No.6「紫の薔薇と手紙」真相　靴磨き薔薇の送り主は靴磨きだった。 | 2-13「幽霊屋敷」No.1「悪霊の噂」初期町外れにある大きな屋敷に悪霊が出るという噂が流れている。 | 2-13「幽霊屋敷」（1）No.2「買い叩き」貴族問題の屋敷は依頼主により相場より安値で買い取られたらしい。 |
| 2-13「幽霊屋敷」（1）No.3「夜中の物音」記者問題の屋敷では夜中になると誰も居ないのに物音がするらしい。 | 2-13「幽霊屋敷」（2）No.4「円満な取引」記者依頼主と屋敷の持ち主との取引は双方の同意のもと行われた。 | 2-13「幽霊屋敷」（3）No.5「暗闇の中で子供」学者学者は物音の正体を子供の仕業だと考えているようだ。 |
| 2-13「幽霊屋敷」（5）No.6「子供たちが屋敷で飼う猫」真相　商人子供たちは屋敷内で猫を飼っており、その世話の際物音が立ったのを誰かが勘違いしたのだろう。 | 2-18「行方不明の看板娘」No.1「酒場のローラ」初期　マスター行方不明になったローラは長い金髪がトレードマークの明るい少女。 | 2-18「行方不明の看板娘」（1）No.2「旅支度」商人旅行へでも行くのか一昨日ローラは旅行道具を買い込んでいた。 |
| 2-18「行方不明の看板娘」（1）No.3「赤毛のローラ」靴磨き昨日美容院でローラはトレードマークの金髪を赤に染めてしまった。 | 2-18「行方不明の看板娘」（1）No.4「貴族のプロポーズ」記者ローラは貴族からプロポーズをされたらしいという噂がある。 | 2-18「行方不明の看板娘」（3）No.5「ジャックと馬車」記者学者の助手、ジャックが赤毛の女性と一緒に馬車にいるのを見た。 |
| 2-18「行方不明の看板娘」（6）No.6「ジャックとローラ」商人ジャックの恋人はローラなので。馬車の赤毛の人物はローラだろう。 | 2-18「行方不明の看板娘」（2と4と6）No.7「駆け落ち」真相　学者ローラは恋人のジャックと駆け落ちをして町から出て行った。 | 2-6「笑わない数学者」No.1「消えた原稿」初期　学者金銭価値のない原稿が紛失した。 |
| 2-6「笑わない数学者」（1）No.2「紙束を抱えた子供」　商人紙束を抱えた学者の息子が酒場に向かうとこが目撃されている。 | 2-6「笑わない数学者」（2）No.3「数式の書かれた紙飛行機」マスター学者の息子が持ち込んだ、難しい数式の書かれた紙を折って作られた紙飛行機。 | 2-6「笑わない数学者」（3）No.4「犯人は息子」真相　学者紙飛行機を作るために紙が欲しかった学者の息子が原稿を持ちだした。 |
| 3-1「表紙のない本」アイテムNo.1「表紙のない本」初期表紙が剥がれ落ちて題名が分からなくなってしまった本。依頼人によれば、この本は第二巻であるらしい。 | 3-1「表紙のない本」（1）No.2「非科学的な内容」学者本の内容は、学者に言わせれば真っ当なものではないらしい。 | 3-1「表紙のない本」（1）No.3「本の注文」商人貴族の名前入りで古本探しの依頼を出した。これはそのことを示す注文書だ。 |
| 3-1「表紙のない本」（1）No.4「本、譲ります？」記者少し前に、匿名で題名のない本を譲りたいという広告依頼があったが、結局立ち消えになった。 | 3-1「表紙のない本」（1）No.5「二人目の本探し」靴磨きマスターが靴磨きに、表紙のない本について何か知らないかと相談しに来ていたようだ。 | 3-1「表紙のない本」（4）No.6「路地裏の取引」靴磨き路地裏で学者が、何かに怯えた雰囲気の誰かから怪しい袋を受けとっていたらしい。 |
| 3-1「表紙のない本」（5）No.7「一組の呪いの書」マスターマスター曰く例の本は、公表や雑に扱うなどすると死神に殺されるが、一組揃えば処分してもいいらしい | 3-1「表紙のない本」（7）No.8「流通しない本」商人例の本は古本としてすら流通しない無名なもので、個人が所有している可能性が高いようだ。 | 3-1「表紙のない本」（5や7と10）No.9「三冊一組の本」記者呪いの書は、三冊で一組になっているらしい。 |
| 3-1「表紙のない本」（7）No.10「依頼人の心配」依頼人例の本について第一巻の持ち主がわかったが、依頼人はこのことが大っぴらになるのをまだ心配している。 | 3-1「表紙のない本」（5や7など）No.11「号外新聞・三冊一組の本」記者三冊で一組になっているという、呪いの書についての記事が載っている号外新聞の草稿。 | 3-1「表紙のない本」（6.7.8.10と11）No.12「号外・処分した呪いの本」学者呪いの書は、学者が雑に扱い紛失したものだった。そして呪いの書の最終巻は、学者が既に燃やしていた。 |
|  |  |  |
| 3-1「表紙のない本」（6.7.8.10と9）No.13「処分した呪いの本」学者呪いの書は、学者が雑に扱い紛失したものだった。そして呪いの書の最終巻は、学者が既に燃やしていた | 3-1「表紙のない本」（3または11）No.14「死神」真相失敗/貴族貴族はついに死神に殺されてしまう、もうこの街を出て行くしかないと言い始めてしまった。BAD END | 3-1「表紙のない本」（13）No.15「取り越し苦労」真相 貴族学者の話を聞いて、貴族はようやく落ち着きを取り戻した。死神など存在しなかったのだ。 |
| 3-2「読めない手紙」No.1「友人について」初期事故死したあなたの友人に関する情報。 | 3-2「読めない手紙」（1）No.2「新月」記者事故は三日前の新月の日、その友人は泥酔して馬車に轢かれて死んだらしい。 | 3-2「読めない手紙」（1）No.3「金の無心」商人あなたの友人から借金の依頼が来たが、商人は断ったらしい。 |
| 3-2「読めない手紙」（1）No.4「予定外の出来事」マスター十日前、その友人は「こんなはずじゃなかった。こうなったら探偵に依頼してでも証拠を掴んでやる」と酒場で呟いていた。 | 3-2「読めない手紙」（1）No.5「友人の儲け話」靴磨き一ヶ月程前、その友人は儲け話が入ったらしく喜んでいる様子だった。 | 3-2「読めない手紙」（1）No.6「鉱山の開発権入札」貴族二週間前、友人の会社は鉱山開発の入札で○☓商事というライバル会社に僅差で負けていた。 |
| 3-2「読めない手紙」（6）No.7「入札情報がばらされた？」記者落札会社の入札価格はいつもと比べ不自然で、疑問が残る。 | 3-2「読めない手紙」（6）No.8「商人の従兄弟」マスター鉱山開発権を落札した会社は、商人の従兄弟が経営しているらしい。 | 3-2「読めない手紙」（8）No.9「商人の融資」学者最近機嫌のいい商人は、友人に融資を行っていた。 |
| 3-2「読めない手紙」（6）No.10「臨時休業」靴磨き新月の日、○☓商事には臨時休業の張り紙が出されていた。 | 3-2「読めない手紙」（10）No.11「酒の購入」マスター酒を飲まない商人が、客のためと言って適当に強い酒を買っていった。 | 3-2「読めない手紙」（2.9.10.11）No.12「商人の独白」真相　商人友人は商人らの不正に気付く直前、商人の従兄弟に殺された。 |
| 3-3「謎の襲撃者」No.1「ダグラスの意識不明」初期実業家のダグラスが、何者かに自宅で殴られ意識不明になっている。 | 3-3「謎の襲撃者」アイテムNo.2「灰皿」初期（このシナリオは初期が2つあるのでミスではない）凶器と思われる灰皿。 | 3-3「謎の襲撃者」（1）No.3「急用」貴族その日ダグラスと会う約束があったが、向こうの急用でなくなった。そのため靴磨きを誘って昼からずっと自宅で酒を飲んでいた。 |
| 3-3「謎の襲撃者」（1）No.4「貴族の目撃情報」記者その日、貴族が15時頃に綺麗な女性と一緒に街を歩いているのを見た。 | 3-3「謎の襲撃者」（1）No.5「喧嘩中の妻」商人ダグラスには喧嘩中の妻がいる。原因は彼の浮気とも、奥さんの浮気とも言われている。 | 3-3「謎の襲撃者」（1）No.6「一緒に酒」靴磨きその日は急に貴族に誘われて、昼からずっと貴族の家で酒を飲んでいた。 |
| 3-3「謎の襲撃者」（3と4）or（6と4）No.7「借金」マスター靴磨きは貴族に借金をしており、頭が上がらない。 | 3-3「謎の襲撃者」（7）No.8「靴磨きの自白」靴磨きは貴族に頼まれて嘘を付いていた。 | 3-3「謎の襲撃者」（2）No.9「灰皿の指紋」学者灰皿からはダグラスの指紋しか出なかった。 |
| 3-3「謎の襲撃者」アイテム（2）No.10「調査済みの灰皿」学者学者が調査した後の灰皿。 | 3-3「謎の襲撃者」（8）No.11「貴族の告白」貴族その日はダグラスの奥さんと会っており、嘘をついたのはそれを知られたくなかったから。アリバイは間違いなくある。 | 3-3「謎の襲撃者」アイテム（8）No.12「浮気相手の写真」貴族ダグラスの浮気相手の写真。 |
| 3-3「謎の襲撃者」（12）No.13「学者の妻」マスターダグラスの浮気相手は、学者の妻だ。 | 3-3「謎の襲撃者」（2と13）No.14「灰皿から学者の指紋」貴族学者の指紋が凶器の灰皿に付いていた。 | 3-3「謎の襲撃者」（10と13）No.15「拭き取られた跡」貴族灰皿には、指紋を拭きとった跡があった。この事件を解決するには、君の推理が必要だ。 |
| 3-3「謎の襲撃者」（14）or（17）No.16「学者の自白」学者ダグラスを意識不明にした犯人は学者だった。 | 3-3「謎の襲撃者」（15）No.17「ダグラスの家から学者の指紋」貴族ダグラスの家のドアノブや電話などから、学者の指紋が見つかった。 | 2-19「失われた物語」No.1「本の紛失」初期先日行われた展示会で、学者の所有する稀少本が紛失した。 |
| 2-19「失われた物語」（1）No.2「アリバイ」商人紛失が発覚した時、商人と学者は展示会場で片付けの手伝い、貴族、記者、マスターはパーティー会場に、靴磨きは馬車の御者として展示会場とパーティー会場の間にいた。 | 2-19「失われた物語」（1）No.3「学者の借金」マスター学者はかなりの借金をしているらしい。 | 2-19「失われた物語」（2）No.4「持ち物検査」記者紛失の発覚後、関係者全員の持ち物検査があったが、何も見つからなかった。 |
|  |  |  |
| 2-19「失われた物語」（2）No.5「馬車の故障」貴族パーティー会場への出発直前に馬車が故障して、御者の靴磨きと、そばにいた学者が修理してくれた。 | 2-19「失われた物語」（5）No.6「学者が馬車を？」靴磨き学者が展示会の前日と翌日に、靴磨きが展示会当日に使っていた馬車を借りた。翌日の方はその馬車をわざわざ指名したらしい。なぜ壊れた馬車を？馬車は商人の知り合い会社のもの。 | 2-19「失われた物語」（6）No.7「細工の痕跡」商人馬車を調べたところ、車輪を外れやすくした細工の痕跡と、小さな箱が取り付けられていた形跡が見つかった。 |
| 2-19「失われた物語」（3と7）No.8「学者の自白」真相　学者保険金目的で紛失を偽装していた。 |  |  |